

## PHR協会研究会ご案内

### PHR協会の提案する健診情報交換の標準化について

主催：一般社団法人 PHR協会 後援：日本医療情報学会(予定)

#### ご案内

労働者の健康維持増進への取り組みを、効果的・効率的に実施するためには労働者の健康診断結果の経年的参照など個人健康情報の有効活用が必要です。とりわけ中小事業所においては、健診機関・嘱託産業医・事業所・健康保険組合の連携が必要と思われます。デジタル化による個人健康情報の標準化と実装は喫緊の課題です。

PHR協会においては、統合デジタル健康管理システムの2年間にわたり、本標準化の実装をするために、個人情報保護と情報セキュリティを含めた検討を進めており、実際に健診・健康管理の現場で活動しておられる皆様のご意見をうかがう場として、研究会を計画致しました。

ご多忙中とは思いますが、東京・品川の地に御参集いただきますよう、お願い申し上げます。

日時：2015年1月13日(火曜日)13時～17時

場所：株式会社日立ソリューションズ 本社別館 20F Hall C,D (裏面地図参照)  
東京都港区港南2-18-1(JR品川イーストビル 20F)

No.	時間	タイトル	(分)	講師
1	13:30	PHR協会の提案する 健診情報交換の標準化について (質疑応答)	40 10	株式会社エム・ピー・オー 代表取締役 森口修逸 (一社)PHR協会 理事
2	14:20	中小事業所嘱託医と健診機関の連携における 産業保健活動支援の必要性と意義 (質疑応答)	20 10	福岡産業保健総合支援センター 所長 織田 進 (一社)PHR協会 理事
3	14:50	医療情報標準化の状況と 健康管理分野への活用へ (質疑応答)	20 10	(独)放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院 院長 安藤 裕 (一社)PHR協会 理事
		休憩	10	休憩
4	15:30	中小事業所の健康管理における 健診機関との連携における現状と課題 (質疑応答)	20 10	産業医科大学 産業生態科学研究所 作業関連疾患予防学 教授 大神 明 (一社)PHR協会 代表理事
5	16:00	ラウンドテーブル 「産業保健における データ活用の今後」	60	・参加全講師 ・フロアからのご質問・御意見も歓迎致します。
	17:00			

参加費：無料

参加申込み：下記の事務局宛て、「PHR協会講演会申込み」と明記のうえ、

[参加者氏名・e-mailアドレス・所属先および所在地・申込日]を連絡ください。

宛先 事務局:info@phrj.org 締切：2014年12月31日(水)

裏面の申込書をFaxいただいても結構です。

なお、客席数(100名)にかぎりがありますので、満員となった場合は受付終了致します。

● 医療情報技師更新ポイント付与予定

## 【研究会に参加いただきたい人】

1. 個人健康情報を活用すべき労働衛生管理(企業)・保健事業(健保・国保)の管理者で、個人情報保護の観点からのデータの取得・利用・提供の流れの改善策を知りたい方
2. 企業の安全衛生管理・健康保健組合等の一般職・医療職で、労働衛生管理・健康管理等に携わり、産業保健面・情報ネットワーク技術面から、機関間の連携を検討中の方
3. 産業医業務でデータ活用を考えている方
4. 上記分野に真剣に取り組みたいと思っている、情報システム・ネットワーク企業の企画者・技術者

## 【研究会への参加により修得できること】

1. 産業保健連携の全体的な流れと有効利用について習得できる
2. 産業保健連携を志向するとき、何からはじめればよいのかが分かる
3. データ分析を産業保健に活かすポイント、活かさないときのボトルネックが何かが分かる

## 会場へのご案内

会場：株式会社日立ソリューションズ 本社別館 20F Hall C,D

住所：〒108-8250 東京都港区港南2-18-1  
(JR品川イーストビル 20F)

アクセス：JR品川駅 港南口方面、新幹線乗り場南口前

・JR 東海道新幹線、東海道線、横須賀線、山手線、京浜東北線



### 講演会申込書 Fax.045-517-3246

ご芳名			Tel.		
e-mail			Fax.		
ご所属 (機関・部署)			(○印)	事務職 医療職	IT技術職 経営者
所在地	都道府県		市町村 区		
申込日	月	日	ご連絡欄		
			医療情報技師更新ポイント付与受講証明書 (要・否)		